



すべての子供たちの笑顔のために私たちが出来ること

Project by MESHI COIN

## 目次

- I めしこいんの基本理念
- II 運営概要
- III めしこいんについて
- IV 拡大に向けた取り組み (PHASE1~3)
- IV 活動停止時の措置について
- V めしこいんの法的取り扱いについて
- VI 運営者について



### I めしこいんの基本理念

毎日のようにニュースで取り沙汰される児童虐待や児童を巻き込んだ事故・事件。未来を夢見る小さな命がその希望ごと奪われる悲しい出来事が後を絶ちません。特に児童虐待のニュースは胸を切り裂かれる思いでご覧になられている方も多いのではないのでしょうか。児童虐待の根本原因は親の経済的な問題であることが多いように思います。虐待に怯える子供たちはもちろんのこと、愛情があるにも関わらず暴力という形で自身の心の葛藤を子供にぶつけてしまう親御さん方のために、寄付という支援の形を世に広めることで力になりたいとめしこいんは考えております。めしこいんはひとりでも多くの子供たちが涙を流さず、笑顔の花を咲かせるために生まれました。子供たちが、大好きなお父さん・お母さんと一緒に笑えることを心から望んでおります。少しでも悲しいニュースが皆様に届かないよう、活動を続けて参ります。

### II 運営概要 (後述 PHASE1,2 の期間)

めしこいんは我が国の証券市場に上場する農業関連銘柄または児童関連銘柄 (直接または間接的に関与する銘柄を含みます。) のうち、小型株を中心に投資を行います。税引き後獲得利益の 50% を児童虐待の撲滅に取り組む団体への寄付に充て、残りの 50% を今後の NPO 法人設立に向けた運営資金としてプールします。収支計算は 3 か月ごとに行い、計算期間終了時に当該機関の獲得利益を公表致します。寄付については利益状況を見て不定期に実行する予定としております。

子供たちが楽しみにしているイベント (お正月・ひな祭り・子供の日・クリスマスなど) にめしこいんホルダーに対し草コインを中心とする仮想通貨をプレゼントする予定としております。子供の頃のワクワクを提供致します。

※浮動株 10% 未満、時価総額 100 億円未満の銘柄を小型株と定義しております。

### III めしこいんについて

めしこいんは **CounterParty** プロトコルにより発行されたデジタルトークンです。初期発行数量は1億通貨であり、通貨単位は **MESC** となります。2018年6月現在のホルダー数は現在400名程度となっており、公式 **HomePage** のほか **Twitter** および **Discord** でも情報の発信を行っております。公式キャラクターはめしぼん。子供たちに温かくで心もお腹も暖まる日本のお米をイメージしたキャラクターとなっております。



### IV 拡大に向けた取り組み

今後の拡大に向けた取り組みについて、**PHASE1** から **PHASE3** のステップをご紹介します。

#### ・ **PHASE1** (～2018年4月)

めしこいんの市場流通量を増やし流動性を上げるため、**Indie Square** の取引所または相対での個別取引により1 **MESC**≒1円程度での販売、その他 **AirDrop** などめしこいんの認知度を上げるための企画により発行数量の30%程度を市場に放出。別添の「**CPT** アライアンス構想」の実践により他の **CounterParty** トークン運営者との連携を強めめしこいんのみならず、**CounterParty** 自体の取引拡大も狙っていきます。目標としては、ホルダー200名、**Twitter** フォロワー1,000名、**Discord** 参加者700名程度。

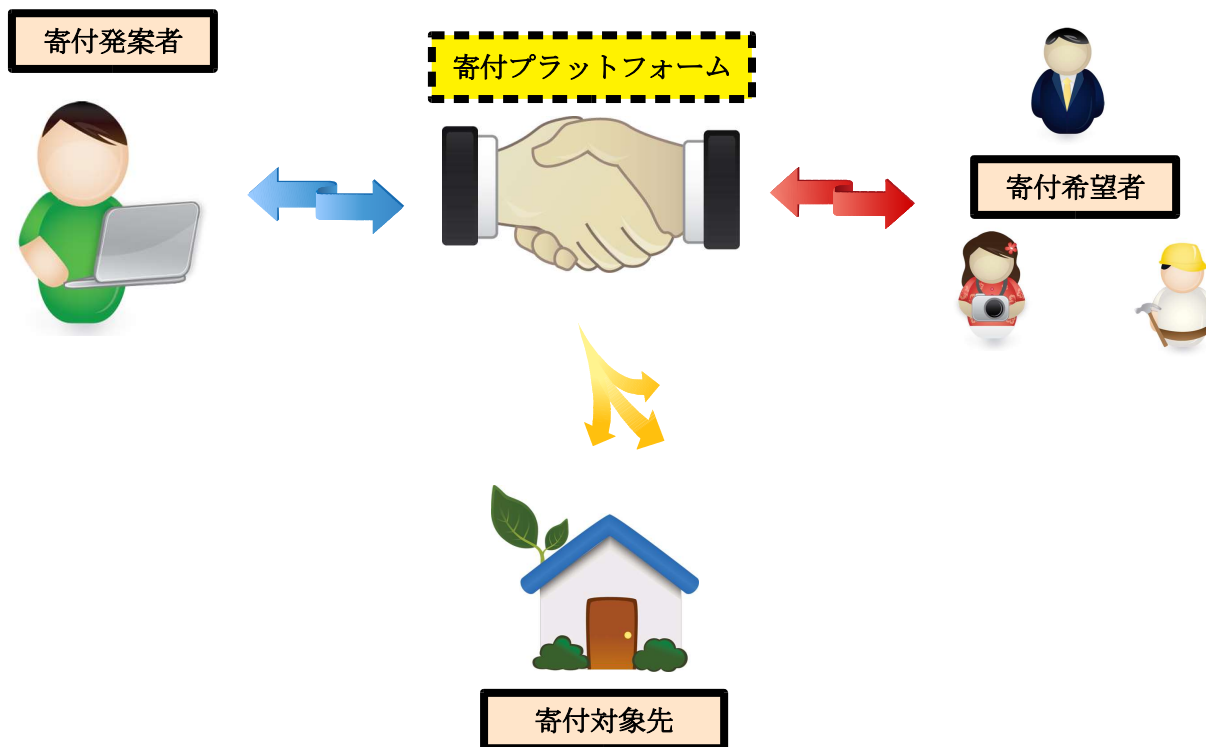
#### ・ **PHASE2** (2018年4月～2023年3月)

**PHASE1** により構築した基盤を更に拡大させ、仮想通貨としての地位を確固たるものすることを目指す活動に移ります。100万であった発行数を1億に増やし、それと同時にロックをかけ発行上限を確定させます。追加発行時以降の換算レートを1 **MESC**=0.1円とすることで、実質10倍の資産価値引き上げを実行致します。既存ホルダーには10000%の配当を実行することで上記資産価値引き上げの効果を付与し、また保有数量の増加により市場での活発な売買を促進します。今後 **AirDrop** はゲーム的な位置付けとし、児童虐待など子供を支援する団体への寄付をしたエビデンスを確認し寄付額に応じて **MESC** を配布する「寄付 **Drop**」を拡大して実施致します。**PHASE1** の活動を継続しながら、寄付 **Drop** の拡大を推進しめしこいんの市場流通量を増やします。寄付 **Drop** の活動を通じて、最終的に総発行数の70%程度を市場に流通させる予定としております。**PHASE3** に移る準備期間として、組織形態も含め法的課題の整理を行います。法務担当、エンジニア、広報など、プロジェクトメンバーを公募し組織としての活動を目指します。

#### ・ **PHASE3** (2023年4月～)

「困っている人を救いたい」「苦しんでいる人を支援したい」その想いを実行に移す手助けをする【寄付プラットフォーム】の構築を目指します。「支え合う」という心と心の繋がりをブロックチェーンで実現するプラットフォームです。プラットフォームの構築、運用に向け、**NPO** 法人化し法人として寄付活動を推進する活動を行います。

寄付プラットフォームの流れは以下の通り



寄付発案者は寄付先・目標金額・募集期間などを寄付プラットフォームに登録。その情報が募集要綱として公開され、当該寄付を目的とする「めしこいんサブトークン」が発行される。

寄付希望者はサブトークンを購入することで寄付への応募となる。

目標金額に達するか募集期間が終了した後、めしこいんより寄付対象先への送金を実行する。

その際金額の5%を差し引いた金額での寄付とする。

差し引いた5%のうち3%についてはめしこいんホルダーへの配当として分配される。

残りの2%は寄付プラットフォームにプールされ、過去の寄付で発行されたサブトークンの回収のために使用される。（回収方法は検討中であり、取引所での買取またはめしこいんグッズの販売による回収などを想定。）

これにより寄付が身近なものとなり、寄付への関心の薄い層への認知にも繋がると考えております。

#### IV 活動停止時の措置について

めしこいんは運営終了時期を設定しておらず、子供たちの明るい未来のため継続運営していくことを前提としております。

しかしながら、想定外の事象などにより予期せず運営を中止することとなった場合においても最低保証として投資家様が保有するめしこいんを買い取る方針としております。

（買取価格は実勢レートにより変動するため運営中止決定時に発表致します。）

#### V めしこいんの法的取り扱いについて

めしこいんは金融商品取引法上の有価証券には該当しないものと考えております。従いまして、運営者は第二種金融商品取引業および投資運用業の登録をしておりません。しかしながら、今後の法改正などの影響により継続が困難になる恐れもございます。それを回避すべく、下記の立て付けとして整理致します。

- ①めしこいんの運営からの購入は運営からの「モノ」の購入として扱う。
- ②ホルダー間の売買は「モノ」の譲渡として捉え雑所得として認識する。
- ③運営からの仮想通貨の配布は法的には運営からホルダーへの贈与とする。

④運営継続を断念した際に返還するお金についても投資の返還ではなく贈与として扱う。従いまして、めしこいんは配当を前提とする有価証券ではなく、仮想の「モノ」と考えます。ホルダーの皆様は、めしこいんの売買による差益は総合課税の雑所得となると考えられるため必要に応じて確定申告をお願い致します。  
配当および事業断念時の返金については贈与として贈与税の申告を検討して下さい。  
(贈与税の基礎控除額は110万円となっておりますので、めしこいんのみで贈与税の申告が必要となることは当面ないと考えております。)

PHASE3における法的取り扱いについては、慎重に検討する必要があるためPHASE2~3の期間に改めて発表させていただきます。

## VI 運営者について

Twitter 公式アカウントはMESHI COIN official (@MESHIOFFICIALac)  
現在、めしこいんの運営はさんめし (Twitter アカウント @sanmeshi) および  
税務・法務担当メンバーの2名。  
今後、NPO 法人設立に向け、運営メンバーを増やす予定としております。

※本ホワイトペーパーは2018年4月時点の情報を元に作成されており、今後、改訂や変更の可能性  
があることにご留意下さい。

・2018年6月 改訂